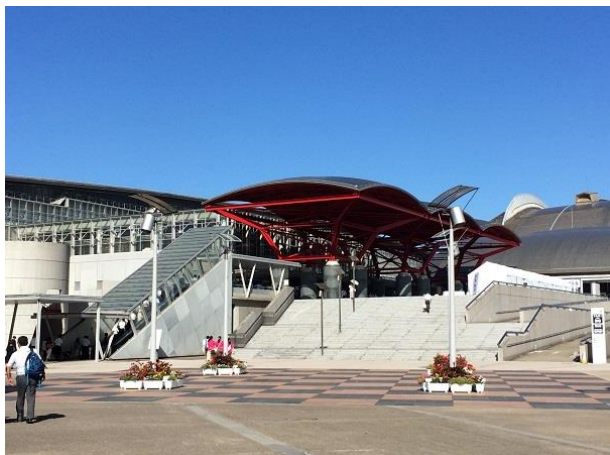


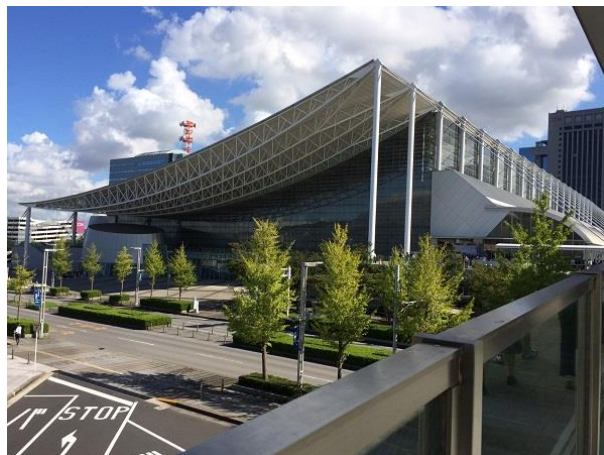
## 全国高等学校 PTA 連合会大会「千葉大会」に参加してきました。

平成 28 年 8 月 25 日木曜日と 26 日金曜日の両日、千葉県の幕張メッセをメイン会場に開催された、第 66 回全国高等学校 PTA 連合会大会「千葉大会」が開催されました。

本校からは、幾田淳也 PTA 会長と石井利治教頭先生が参加されました。



メイン会場「幕張イベントホール」



サブ会場「国際会議場コンベンションホール」

全国から 1 万人を超える参加者が集まり、全体会は 2カ所に分かれて行われました。開会前や昼食時には、千葉県内の高校の吹奏楽部やジャズ・オーケストラ部、バトン部の生徒たちが会場を盛り上げてくれました。

基調講演では姫島出身の千葉敬愛短期大学の明石学長が、「高校生の自立を支援する PTA 活動の在り方」をテーマに、軽妙なトークで会場を笑いの渦に巻き込みながら講演されました。会場に語りかけながら、現代の高校生の気質と保護者や社会の風潮を織り交ぜながら、子育てに関する持論を展開されました。時間が経つのを忘れるほど興味ある内容でした。分科会では、リクルート進学総研所長がデータを駆使して子どもと親との関係を分析した講演を行い、その後それに基づいたパネルディスカッションが行われました。父親として母親とし



て子どもにどう接してきたかという体験談を元に、これからの親子関係の在り方について議論されました。

二日目は、「まんが日本昔ばなし」でお馴染みの千葉県出身の女優、市原悦子さんの講演がありました。戦後の苦しい時期を振り返ってのことや女優となるきっかけなどを、おっとりとした雰囲気でお話されました。途中、物語の朗読があり、場面が浮かび上がるような話され方に引き込まれていきました。

全国のPTAの方々の、創意工夫をこらした熱心な活動に触れることのできた二日間でした。

